

平成 21 年度第 2 回廃棄物減量等推進審議会議事録

平成 22 年 3 月 2 日（火）

10 時～11 時 50 分

多治見市役所 4 階会議室

出席委員 加納副会長、陣野委員、谷口委員、坪井委員、土岐委員、広瀬会長、船戸委員、間宮委員、水野委員、吉川委員、吉野委員、渡邊委員

欠席委員 安藤委員、田中委員

事務局 若尾市民環境部長、浅野環境課長、熊谷三の倉センター所長、環境課 市川、藤井、伊藤、小木曾（千）、田中、山田

1 開会挨拶

環境課長あいさつ

2 多治見市水害廃棄物処理計画（案）について

会 長 多治見市水害廃棄物処理計画（案）の審議に入ります。まずは事務局から説明をお願いします。

事務局 前回の審議会でもいただいたご意見をもとに、多治見市水害廃棄物処理計画（案）を修正しました。まず、被害地域の想定についてです。姫川や市之倉川は「多治見市浸水予想図」に入っておらず、データがないため、水害廃棄物処理計画の中に被害の想定は記載しませんが、4 ページの一番下にあるように、土岐川などに準じた対応を行うこととしました。次に、2 ページにある一般廃棄物処理施設の浸水対策ですが、被害や浸水対策は共通であったため、まとめて記載しました。同様に、13 ページの廃棄物処理施設の復旧対策もまとめて記載しています。次に、7 ページにある仮置場の対象地区についてですが、今回は校区を列挙していたところ、細かな校区は省略し、単に「多治見地区」、「笠原地区」としました。また、字句の誤りなどの修正も行っています。前回からの修正は以上です。

事務局 補足させていただきます。可児市に聞いたところ、可児市においても可児川の浸水は想定していないとのこと。下流の可児川で浸水が想定されていないということで、本市ではさらに浸水の可能性は低いと考えられます。

会 長 今の事務局の説明について、ご意見、ご質問はありますか。

委 員 「多治見市浸水予想図」の被害想定には、住民の意見は反映されているのでしょうか。

事務局 住民の方のご意見ではなく、想定される数字を記載しています。ただ、住民の方のご意見を反映させるべきとのご意見があったことは、情報防災課に伝えておきます。

会 長 他にご意見はありますか。他にご意見はないようですので、多治見市水害廃棄物処理計画（案）は、事務局案のとおりとします。

3 多治見市震災廃棄物処理計画（案）について

会 長 続いて多治見市震災廃棄物処理計画（案）について審議します。事務局から説明をお願いします。

事務局 前回のご意見をもとに、多治見市震災廃棄物処理計画（案）を修正しました。まず、2 ページの一般廃棄物処理施設の耐震化については、全施設が耐震基準を満たしているため、耐震化の必要がない旨を記載しました。また、被害や対策が各施設で共通であったため、表をひとつにまとめました。次に、5 ページの被害地域の想定についてですが、想定される地震のうち最大となる「多治見市直下型地震」をもとに被害を想定している旨を明記しました。また、字句の修正も行っています。前回からの修正は以上です。

事務局 補足させていただきます。前回ご意見のあった橋の耐震化ですが、担当課に確認したところ、主要な橋については落橋防止の工事が済んでいるとのことでした。

会 長 それでは、今の説明についてご意見、ご質問はありますか。

委 員 4 ページにある周辺市町村等との協定は、どんな内容のものでしょうか。

事務局 物資等の提供です。

会 長 ごみ収集車等は含まれませんか。

事務局 ごみ収集車と職員の派遣も含まれています。協定は大枠のみ定め、あとは互いの要望に応じてとなります。

会 長 それらの支援がなかったとしても、計画どおりに廃棄物を処理できる見込みでしょうか。

事務局 支援がなくても処理できる計画となっています。

会 長 他にご意見はありますか。他にご意見はないようですので、多治見市震災廃棄物処理計画（案）は、事務局案のとおりとします。

4 「循環型社会システム構想」のA、B段階の総括に向けて

会 長 「循環型社会システム構想」のA、B段階の総括に向けてについて、事務局から説明をお願いします。

事務局 多治見市は早い段階から金属等の分別を始めましたが、さらなるごみ減量・再資源化に向け、平成 10 年度に環境庁の補助を受けて「循環型社会システム構想」を策定しました。この構想では、「脱焼却」、「脱埋立」を目指し、平成 27 年には資源化率 95～100%を達成するという目標を掲げています。まず、目標とその達成状況ですが、平成 15 年を目標年次とする A 段階では、資源化率 40～45%の目標に対して実績が 32.2%、平成 22 年を目標年次とする B 段階では、資源化率 55～60%の目標に対して平成 20 年度実績で 33.1%となっています。導入された施策としては、A 段階で次世代型焼却炉の導入、資源化施設の導入、エコクッキング教室の開催、多治見ブランド再生品の販売など、B 段階で厨芥類処理施設の導入などです。構想の策定時から 10 年以上が経過し、現実的ではない施策があり、また、目標を大幅に下回る資源化率となっているこ

とから、来年度見直しを行うものです。

会 長 それでは、今の説明についてご意見、ご質問はありますか。

委 員 生ごみ処理機を導入すれば、家庭からのごみは大幅に減らせると思います。実際、笠原町の梅平団地では、地域の集会場に設置した生ごみ処理機に家庭から出た生ごみを入れることで、ごみが減る上に、良質の堆肥ができています。

委 員 大型店のごみ処理を見ていて、疑問に感じる場合があります。以前、スーパーマーケットに来ていたごみの収集車が、蛍光管を燃やすごみなどと一緒に放り込んでいて、それでいいのかと疑問に思いました。家庭系のごみだけをきちんと分別して減量したとしても、それだけでは限界があるのではないのでしょうか。

事務局 蛍光管を燃やすごみと一緒に処理していたというのは、非常に問題です。詳しくお聞きした上で調査を行います。

委 員 事業系の生ごみは堆肥化センターで受け入れないのでしょうか。堆肥化センターの稼働率が低いと聞いており、もったいないように思います。

事務局 処理能力に余力があるため、来年度からは県病院の残菜を受け入れる予定です。なお、堆肥化センターで処理した場合、処理前と処理後では、重量が2分の1程度になります。

委 員 ごみステーションに事業系のごみが出されていますが、どういうことでしょうか。一定の量まではいいということでしょうか。

事務局 事業系のごみは、ごみステーションに出していただくことはできません。ただ、事業所と家庭が一緒になっている場合に少量混入するのは黙認している状況です。

委 員 土岐市の場合、〇キログラム以上は事業系としていたように思います。

委 員 ごみの組成の資料があれば、どこをどう減らしていくかの対策が立てやすいと思います。一度調べてみてはどうでしょうか。また、タイルにスラグを混入する技術の話があったと記憶していますが、その後どうなっているのでしょうか。

事務局 タイルの件は、陶磁器意匠研究所に聞いておきます。

委 員 生ごみの堆肥化については、恵那市の事例も参考になると思います。

委 員 「ハザカプラント」の機械も参考になるのではないのでしょうか。

委 員 生ごみに限らず、ごみ減量の必要性についてPRが十分でないように思います。

委 員 ごみの減量に取り組む前に、人口の推移や世帯構成の変化も調べておくべきではないのでしょうか。

会 長 他にご意見はありませんか。他にご意見がないようですので、本日はここまでにして、構想の見直しについて来年度審議することとします。

5 その他

会 長 その他、事務局から何かありますか。

事務局 来年度の収集カレンダーと新しい「ごみとのつきあい方」ができあがりましたので、お手元に配付させていただきました。ご覧の上、何かご意見があれば、事務局までご連絡ください。

事務局　次に、水害・震災の両計画の今後の予定についてです。両計画については、今後庁内で調整後、パブリック・コメントを行う予定です。その過程で修正が生じた場合の対応について、委員のみなさまの合意をいただければと思います。

会　長　軽微な修正の場合は私と事務局に一任していただいて、大幅な修正が生じた場合には再度この審議会で審議するというものでいかがでしょうか。

委　員　異議なし。

事務局　それでは、水害・震災の両計画につきましては、そのように対応させていただきます。続きまして、前回の議事録についてです。先日送付させていただき、ご意見がある場合は事務局までご連絡くださいとお伝えしたところですが、特にご連絡はございませんでした。ご意見がなければこれをもって確定としたいと思います、よろしいでしょうか。

委　員　異議なし。

事務局　続きまして、来年度の審議予定についてです。来年度の議題は、現在のところ5件を予定しております。まず、①循環型社会システム構想の見直し、②平成23年度一般廃棄物処理実施計画の策定、③分別収集計画の策定、④陶磁器の回収・リサイクルの開始に係る検討、⑤循環型社会システム構想の見直し、陶磁器の回収・リサイクルの開始に伴う一般廃棄物処理基本計画の見直しです。分別収集計画を6月中旬までに岐阜県に提出する必要があること、陶磁器の回収の開始を10月めどとしていることから、今回は4月中旬から下旬に開催の見込みです。日程調整は後日させていただきますので、よろしくお願いいたします。

会　長　それでは、今回は、4月中旬から下旬に開催することとし、本日は終了します。